



令和2年1月24日
中村河川国道事務所

なかむらすくも
国道56号 中村宿毛道路
開通予定時期の見直しについて

国道56号 なかむらすくも 中村宿毛道路については、令和元年度の開通を目指し事業を進めてきたところです。

しかしながら、施工済み箇所において地下水が原因と想定される路面沈下が発見されたため、有識者からなる技術検討委員会を設置し、原因把握と対策工法検討を行いました。

技術検討委員会での審議の結果、地下水対策を実施したうえ降雨経験による効果の確認が必要とされたことから、工事工程の精査をおこない開通予定時期を令和2年夏頃へ見直すこととしましたのでお知らせします。

引き続き一日も早い開通に向け、最大限の努力をしてまいりますので、ご理解とご協力の程お願いいたします。

1. 事業名

国道56号 中村宿毛道路

2. 新たな開通予定時期

令和2年 夏頃

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 TEL0880-34-7301(代表)

副所長(道路) へいぐち まさお 平口 正雄 (内線 205)

○工務第二課長 たにのみか としゆき 谷岡 敏幸 (内線 411)

○主な問い合わせ先

- 地下水の供給源と想定される法面に垂直ボーリングを実施し、現在の水位を正確に把握する。
- 路盤及び埋め戻し土に地下水が浸透しており、排水対策工を適切に行う。
(地下排水管、横ボーリング等)
- 対策工を実施後、一定の降雨を経験し、効果を確認する必要がある。

【路肩沈下の状況】

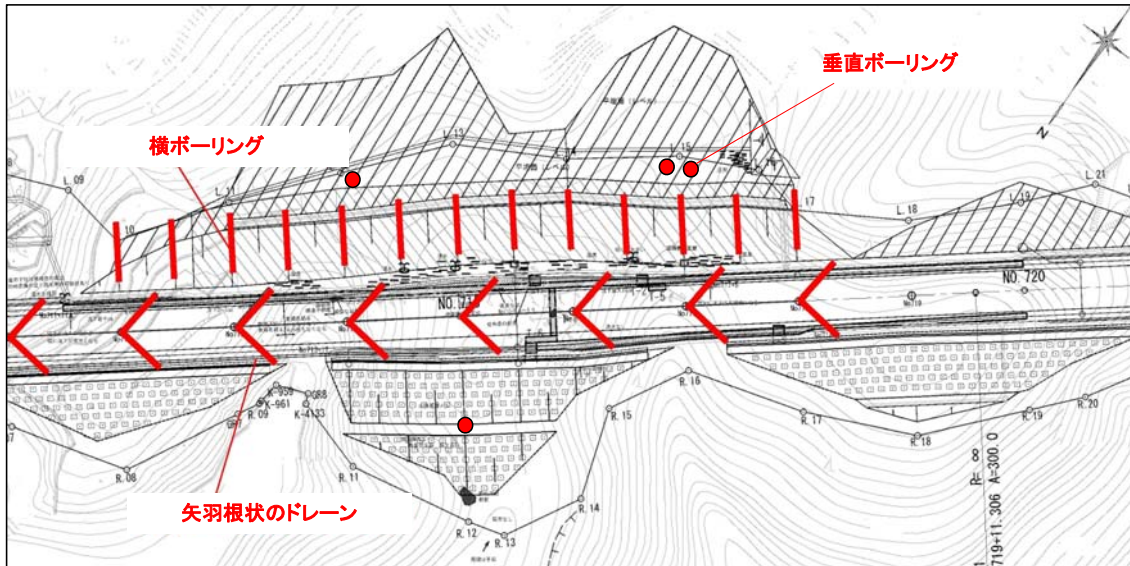


【委員会開催状況】



検討した対策工の概要

●対策工(案)イメージ

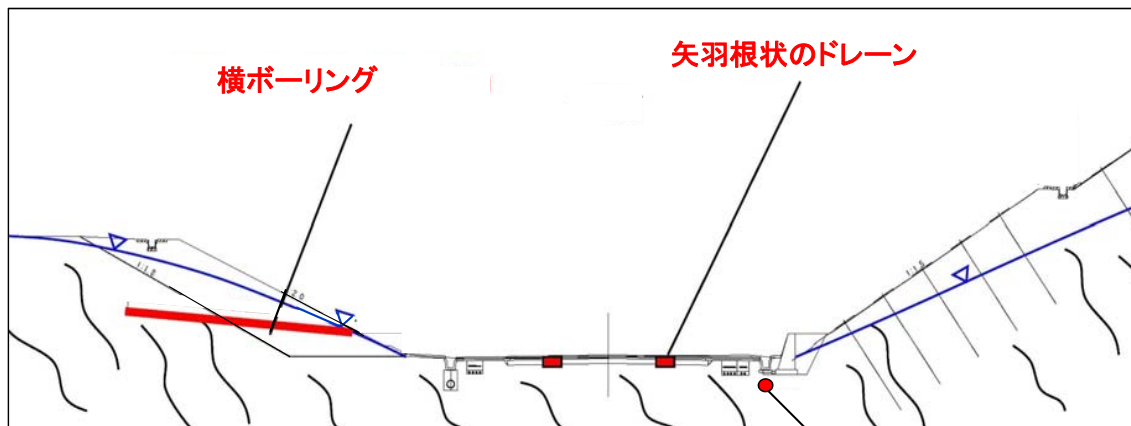


●横ボーリングの施工イメージ

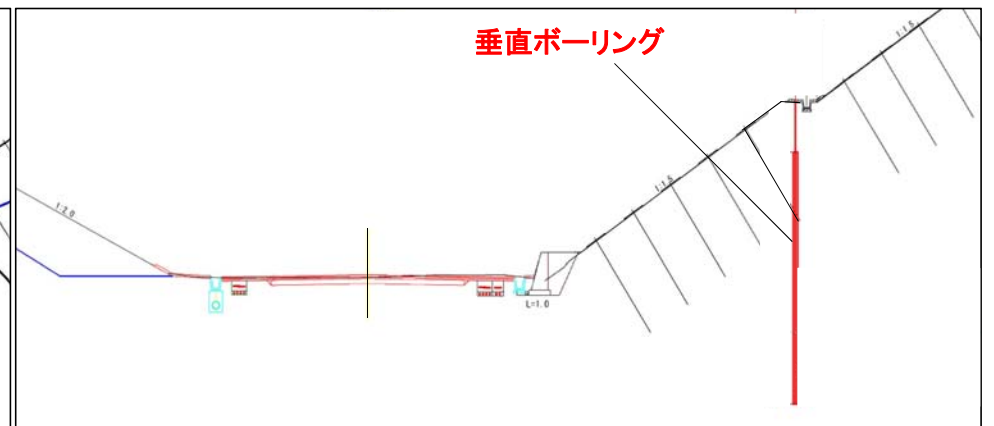


※対策工法の設置規模等は、今後の調査結果により決定します。
※矢羽根状のドレーンは、開削後に地山の状況を見て設置の判断を行います。

●排水対策工(案)断面図



●垂直ボーリング(案)断面図



地下排水管の追加